

愛知県総合教育センター

令和2年度事業実績

1 教育研究調査事業

(1) 主な刊行物

- ① 研究紀要 第110集 (CD-ROM)
- ② 研究紀要 別冊
「令和2年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

(2) 研究発表会

第60回愛知県総合教育センター研究発表会 (令和2年11月27日)

研究発表 (5部会)

| 部 会 番 号 | 主 題 |
|------------|--|
| 1 | 学校教育目標を実現するための社会に開かれた教育課程の在り方に関する研究 (中間報告) |
| 2 | 多様な校種における情報モラルとICTを活用した授業実践の研究 |
| 3 | いじめの組織的な未然防止に関する研究 (中間報告) |
| 4 | 県立高等学校教育課程課題研究 (地理歴史, 公民) |
| 5 | 県立高等学校教育課程課題研究 (理科) |

(3) 研究相談及び地区研究会・研修会等への指導助言

(上欄は件数、下欄は対象人数)

| 対 象 | 内 容 | 生 徒 | 教 科 | 進 路 | 家 庭 | 特 別 | 教 材 | 教 育 | 道 徳 | 審 査 | 情 報 | そ の | 合 計 |
|----------------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | | 指 導 | 指 導 | 指 導 | 教 育 | 支 援 | 作 相 | 教 育 | 教 育 | 表 報 | 他 | | |
| 幼 児 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 児 童 生 徒 | | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 1 | 10 |
| | | 0 | 820 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 295 | 190 | 600 | 1,905 |
| 教 員 | | 0 | 53 | 0 | 0 | 43 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 6 | 107 |
| | | 0 | 1,325 | 0 | 0 | 1,306 | 0 | 103 | 0 | 0 | 0 | 239 | 2,973 |
| P T A | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 |
| 一 般 (高 齢 者) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一 般 (サークル) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| そ の 他 | | 0 | 3 | 0 | 0 | 13 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 |
| | | 0 | 109 | 0 | 0 | 307 | 0 | 140 | 0 | 0 | 0 | 0 | 556 |
| 合 計 | | 0 | 59 | 0 | 0 | 56 | 0 | 11 | 0 | 3 | 3 | 7 | 139 |
| | | 0 | 2,254 | 0 | 0 | 1,613 | 0 | 288 | 0 | 295 | 190 | 839 | 5,479 |

(各部の総計)

(4) 教育研究サポートデスク相談件数：校数 (人数)

| 小学校 | 中学校 | 高等学校・ 特別支援学校 | その他 | 合計 |
|-------|-------|-----------------|-------|-------|
| 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 1 (1) |

2 教育関係職員研修事業

(1) 基本研修

ア 初任者研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 実人数 | 日数 |
|----|-----------------------|---|-----|----|
| 1 | 小学校初任者研修 | 新任の教員が、現職研修の一環として、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得る。 | 468 | 7 |
| 2 | 中学校初任者研修 | | 204 | 7 |
| 3 | 高等学校初任者研修 | | 233 | 10 |
| 4 | 特別支援学校初任者研修 | | 120 | 9 |
| 5 | 新規採用養護教諭研修 | | 36 | 8 |
| 6 | 新規採用栄養教諭研修 | | 8 | 8 |
| 7 | 県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修 | | 24 | 2 |
| 8 | 幼稚園等新規採用教員研修 | | 54 | 6 |

イ 2年目教員研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 実人数 | 日数 |
|----|---------------|---|-----|----|
| 9 | 高等学校2年目教員研修 | 初任者研修または新規採用者研修を受講修了した教職経験2年目の県立学校全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、教育上の課題に対応し得る内容について研修を行い、資質・能力の向上を図る。 | 251 | 2 |
| 10 | 特別支援学校2年目教員研修 | | 127 | 1 |

ウ 3年目教員研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 実人数 | 日数 |
|----|---------------|---|-----|----|
| 11 | 高等学校3年目教員研修 | 愛知県における教職経験が3年目の高等学校全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行う。とりわけ、不祥事防止の決意を確かなものとし、服務規律のいっそうの確保を図る。 | 259 | 1 |
| 12 | 特別支援学校3年目教員研修 | 愛知県における教職経験が3年目の特別支援学校全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行う。とりわけ、不祥事防止の決意を確かなものとし、服務規律のいっそうの確保を図る。 | 117 | 1 |

エ 5年経験者研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 実人数 | 日数 |
|----|---------------|--|------------|----|
| 13 | 小学校5年経験者研修 | 教職経験5年経過の全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、教育上の課題に対応し得る内容について研修を行い、資質・能力の向上を図る。 | (418) ※ | 1 |
| 14 | 中学校5年経験者研修 | | (285) ※ | 1 |
| 15 | 高等学校5年経験者研修 | | (292) ※ | 1 |
| 16 | 特別支援学校5年経験者研修 | | 92 | 1 |
| 17 | 養護教諭5年経験者研修 | | 33 | 3 |
| 18 | 栄養教諭5年経験者研修 | | 19 | 3 |

※集合研修は行わず、eラーニングで実施

オ 10年経験者研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 実人数 | 日数 |
|----|--------------|---|-----|----|
| 19 | 幼稚園10年経験者研修 | 教職経験10年経過の全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、教育上の課題に対応し得る内容について研修を行い、資質・能力の向上を図る。 「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」の施行 | 13 | 2 |
| 20 | 小学校10年経験者研修 | | 373 | 4 |
| 21 | 中学校10年経験者研修 | | 306 | 4 |
| 22 | 高等学校10年経験者研修 | | 202 | 4 |

| | | | | |
|----|----------------|---|----|---|
| 23 | 特別支援学校10年経験者研修 | (平成29年4月1日)に伴う教育公務員特例法の第24条でいう「中堅教諭等資質向上研修」として実施する。 | 89 | 3 |
| 24 | 養護教諭10年経験者研修 | | 34 | 5 |
| 25 | 栄養教諭10年経験者研修 | | 11 | 5 |

カ 10年経験者研修<受講時期の弾力化>について

- ・校内研修：マネジメントに関するOJT
- ・校外研修：2日間（eラーニング研修1日を含む）

| 番号 | 研修名 | ねらい | 実人数 | 日数 |
|----|---------------------|---|-----|----|
| 22 | 高等学校10年経験者研修（1年目） | 「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」の施行（平成29年4月1日）に伴い、学校運営において中核的な役割を果たす中堅教諭等の資質向上を図ることを目的とし、教職経験が10年に満たない教員の一部を対象に複数年かけて実施する。 | 27 | 1 |
| 22 | 高等学校10年経験者研修（2年目） | | 31 | 3 |
| 23 | 特別支援学校10年経験者研修（1年目） | | 6 | 1 |
| 23 | 特別支援学校10年経験者研修（2年目） | | 8 | 2 |
| 24 | 養護教諭10年経験者研修 | | 0 | 1 |
| 25 | 栄養教諭10年経験者研修 | | 0 | 1 |

(2) 職務研修

学校経営に関する資質・能力や、職務に応じた職責遂行のために必要な知識・技能等の向上を図ることを目的とする。

| 番号 | 研修名 | ねらい | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|----------------------|--|--|-----|----------------------|
| 26 | 小中学校初任者研修拠点校指導教員研修 | 初任者研修についての共通理解を図るとともに、校内研修上の諸問題及び初任者への指導の在り方についての研修を行い、資質の向上を図る。 | 小・中・義務教育学校の拠点校指導教員（第1日のみ、東三河教育事務所管内の対象者と合同） | 222 | 3 |
| 27 | 特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修 | 初任者研修における拠点校方式への共通理解を図るとともに、初任者に対する指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質の向上を図る。 | 特別支援学校の拠点校指導教員 | 14 | 5 |
| 28 | 特別支援学級担当教員初任者研修 | 特別支援学級の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図る。 | 小・中・義務教育学校の特別支援学級担当教員の初任者全員 | 388 | 1 |
| 29 | 通級指導担当教員初任者研修 | 通級指導教室の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図る。 | 小・中・義務教育学校の通級による指導担当教員の初任者全員 盲・聾学校の通級による指導担当教員の初任者のうち、参加を希望する教員 | 98 | 1 |
| 30 | 高等学校実習教員研修 | 講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図る。 | 高等学校の実習教員 <A：理科> <B：農業・水産> <C：工業> (地区ごとに人数を指定する) | 0 | 0 |
| 31 | 県立学校新任生徒指導主事研修 | 当面する生徒指導上の諸問題について、講義、研究協議、情報交換等を通じて、共通理解を深め、生徒指導を担当する教員の資質・能力の向上を図る。 | 高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員 | 55 | 1 |
| 32 | 中学校進路指導主事研修 | 【新任のみ】eラーニングにより進路指導に関する諸問題についての講義を視聴し、資質・能力の向上を図る。 | 中学校・義務教育学校の進路指導主事 | 95 | 1 ※集合研修の対象は「新任」のみ |

| 番号 | 研修名 | ねらい | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|--------------------|---|---|-----|----------------------|
| 33 | 県立学校進路指導主事研修(新任のみ) | 【新任のみ】eラーニングにより進路指導に関する諸問題についての講義を視聴し、資質・能力の向上を図る。 | 高等学校、特別支援学校(高等部)の進路指導主事 | 50 | 1 ※集合研修の対象は「新任」のみ |
| 34 | 小中学校新任教務主任研修 | 学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議、教育法規演習などを通して、教務主任としての資質・能力の向上を図る。 | 小・中・義務教育学校の新任教務主任全員(集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く) | 202 | 2 |
| 35 | 県立学校新任教務主任研修 | 学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議、教育法規演習などを通して、教務主任としての資質・能力の向上を図る。 | 県立学校の新任教務主任全員(特別支援学校については、高等部に限らない) | 64 | 2 |
| 36 | 産業教育学科主任研修 | 産業教育の抱える今日的な課題についての講義や協議を通して、産業教育学科主任としての資質・能力の向上を図る。 | 高等学校産業教育関係学科の学科主任 <工業・商業> 大学科1人 <農業・水産・家庭・看護・福祉>全員 | 97 | 1 |
| 37 | 特別支援学校部主事研修 | 学校運営に関する諸問題について広く研修し、部主事としての資質・能力の向上を図る。 | 特別支援学校の部主事全員 | 96 | 1 |
| 38 | 園長等運営管理研修 | 幼稚園教育要領に基づいた教育内容、当面する幼児教育の諸問題、園長等に対する園運営・管理の専門的な事項について研修し、管理職や指導者としての資質・能力の向上を図る。 | 国公立幼稚園の園長、公立認定こども園の園長、公立保育所の所長、市町村の保育行政担当者(名古屋市を含む) | 32 | 1 |
| 39 | 小中学校新任教頭研修 | 当面する学校教育の諸問題及びサービス、人権教育、教育法規等について研修し、教頭としての視野を広め、経営能力及び指導力の向上を図る。 | 小・中・義務教育学校の新任教頭全員(集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く) | 177 | 1 |
| 40 | 小中学校新任校長研修 | 当面する学校教育の諸問題及びサービス、人権教育、組織マネジメント等について研修し、校長としての視野を広め、経営能力及び指導力の向上を図る。 | 小・中・義務教育学校の新任校長全員(集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く) | 124 | 1 |
| 41 | 県立学校新任教頭研修 | 教頭の職務・役割について理解を深めるとともに、管理職としての経営能力及び指導力の向上を図る。 | 県立学校の新任教頭全員 | 55 | 1 |
| 42 | 県立学校新任校長研修 | 時代の変化に対応した新しい学校づくりの手法を身に付けるとともに、学校経営者として総合的な組織マネジメント能力の向上を図る。 | 県立学校の新任校長全員 | 35 | 1 |
| 43 | 公立学校の臨時教員等研修 | サービスや人権教育、教育公務員としての在り方について研修し、資質の向上を図る。 | 県立学校の臨時教員全員 | 0 | 0 |

(3) 課題研修

今日的な教育課題に適切に対処できる資質・能力、また、職務に関する課題に的確に対応できる資質・能力の向上を図ることを目的とする。対象者については、原則として、地区または学校ごとに人数等を指定する。

| 番号 | 講座名 | ねらい | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|-----------|---|-------------------------------------|-----|----|
| 44 | 幼稚園教育課程講座 | 幼稚園の教育課程の編成及び実施に伴う指導上の諸課題等についての専門的な講義や協議を行い、幼児教育の振興及び充実を図る。 | 【公立幼・保・認定こども園】 教員、保育士、保育教諭 | 206 | 1 |
| 45 | 道徳教育講座 | 道徳の時間や人権教育の充実などについての講義や研究協議を通して、道徳教育、心の教育のいっそうの充実を図る。 | 【幼】教諭 【小・中・義】 道徳教育推進教師または道徳主任 | 57 | 1 |

| 番号 | 講座名 | ねらい | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|-----------------------|--|---|-----|----|
| 46 | 外国人児童生徒教育講座 | 講義、演習、研究協議などを通して、外国人児童生徒教育に必要な知識や技能を習得し、資質・能力の向上を図る。 | 【小・中・義・高・特】外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者 | 56 | 2 |
| 47 | 県立学校運営講座 | 学校経営の視点から、教育法規や財務事務、主任の立場から見た学校の課題とその対応等について研修を行い、主任として求められる資質の向上と幅広い視野に立った教育観の確立を図る。 | 【高・特】校長の推薦を受けた者 | 72 | 2 |
| 48 | 学級づくりに生かす教育相談講座 | 教員として必要な教育相談に関する基礎的な知識や技能を習得し、幼児、児童、生徒の理解や学級づくりに生かすことができる力量を養う。 | 【幼・小・中・義・高・特】教育相談に関心のある初心者 | 45 | 2 |
| 49 | 多職種連携を意識した組織で行う教育相談講座 | 学校・地域において、教育相談の推進や充実に向けて指導的役割を担う人材の育成を目指し、個別の事例に対応できる専門的な理論・技法を習得する。 | 【小・中・義・高・特】教育相談において中心的な役割を担う者 | 40 | 2 |
| 50 | 情報モラル指導者養成講座 | 学校及び地域の情報モラル指導の中核となる教員を育成するため、児童生徒のインターネット利用の現状と課題を把握する。また、有効な教材を提供・紹介するとともに、効果的な指導法についての知識・技術を習得し、情報モラル指導者としての指導力の向上を図る。 受講者は、校内研修の講師として、情報モラルに関するワークショップ形式の研修を実施する。 | 【小・中・義】今後、学校及び地域の情報モラル指導の中核となる教員 | 60 | 1 |
| 51 | 教科情報における文部科学省教材活用講座 | 新学習指導要領における共通必修教科目「情報I」の「コミュニケーションと情報デザイン」「コンピュータとプログラミング」「情報通信ネットワークとデータの活用」の単元における授業実践や教材開発について知識や技術を身に付ける。 | 【高】高等学校の情報科教員 | 39 | 1 |

(4) 専門研修

教科及び領域等の専門的な内容を深め、実践的な指導力の向上を図る。受講希望者を対象とする自由応募制による研修。一部、地区または学校ごとに人数を指定する講座（地区指定分）がある。また、小学校、中学校、高等学校の5年経験者研修の教科別研修を兼ねる講座や、高等学校10年経験者研修の教科指導研修を兼ねる講座もある。

| 番号 | 講座名 | コース記号・コース名 | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|----------|------------------|---------|-----|----|
| 52 | 国語科講座 | A 小中学校コース | 小・中・義 | 0 | 0 |
| | | B 高等学校コース | 高 | 0 | 0 |
| 53 | 社会科講座 | A 小中学校コース | 小・中・義 | 75 | 1 |
| | | B 高等学校コース | 高 | 33 | 1 |
| 54 | 算数・数学科講座 | A 小学校コース | 小 | 105 | 1 |
| | | B 中学校コース | 中・義 | 0 | 0 |
| | | C 高等学校コース | 高 | 0 | 0 |
| 55 | 理科講座 | A 小学校コース | 小 | 0 | 0 |
| | | B 中学校コース | 中・義 | 0 | 0 |
| | | C 高等学校コース | 高 | 0 | 0 |
| 56 | 生活科講座 | | 小・義・特 | 0 | 0 |
| 57 | 保健体育科講座 | A 小中学校コース | 小・中・義 | 0 | 0 |
| | | B 高等学校・特別支援学校コース | 高・特 | 0 | 0 |
| 58 | 音楽科講座 | A 小学校コース | 小・義・特 | 0 | 0 |
| | | B 中学校・高等学校コース | 中・義・高・特 | 0 | 0 |

| 番号 | 講座名 | コース記号・コース名 | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|-----------------------------|------------------------|-------------|-----|----|
| 59 | 図画工作・美術科講座 | | 小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| 60 | 小学校外国語科講座 | | 小・義 | 0 | 0 |
| 61 | 英語科講座 | | 中・義・高 | 24 | 1 |
| 62 | 技術科講座 | | 中・義・特 | 107 | 1 |
| 63 | 家庭科講座 | A 小中学校コース | 小・中・義 | 0 | 0 |
| | | B 高等学校コース | 高・特 | 0 | 0 |
| 64 | 情報科講座 | | 高 | 0 | 0 |
| 65 | 農業科講座 | | 高 | 0 | 0 |
| 66 | 工業科講座 | | 高 | 0 | 0 |
| 67 | 商業科講座 | | 高・特 | 0 | 0 |
| 68 | 海洋環境学習講座 | | 幼・小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| 69 | 看護科講座 | | 高 | 0 | 0 |
| 70 | 福祉科講座 | | 高 | 0 | 0 |
| 71 | 学校農園管理講座 | | 幼・小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| 72 | 安全教育実技講座（フォークリフト運転業務特別教育講習） | | 高・特 | 0 | 0 |
| 73 | 保育技術講座 | | 幼・保・認定こども園 | 40 | 1 |
| 74 | 特別支援教育講座 | A ユニバーサルデザインの授業セミナー | 幼・小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| | | B 自立活動セミナー | 幼・小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| | | C 重複障害児教育セミナー | 幼・小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| | | D アセスメントセミナー1（KABC-II） | 幼・小・中・義・高・特 | 10 | 1 |
| | | E アセスメントセミナー2（WISC-IV） | 幼・小・中・義・高・特 | 5 | 1 |
| | | F アシスティブテクノロジーセミナー | 幼・小・中・義・高・特 | 0 | 0 |
| 75 | いじめ・不登校などの諸問題に対応する教育相談講座 | | 小・中・義・高・特 | 41 | 2 |

< eラーニング単独講座 >

| 番号 | 講座名 | コース記号・コース名 | 対象者 | 形態 |
|----|----------------------------------|--------------------------------|--|----------|
| 76 | 職場のメンタルヘルス講座 ^(注) | A 職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～ | 幼・小・中・義・高・特 ※事務職員を含む | eラーニング単独 |
| | | B 学校現場の職場ストレスとその対処法 | | eラーニング単独 |
| 77 | 理科観察・実験指導基礎講座 ^(注) | | 県立学校の実習教員 (理科)、小・特の教員 及び中・高の理科担当 教員 | eラーニング単独 |
| 78 | E S D（持続発展教育）推進講座 ^(注) | | 幼・小・中・義・高・特 | eラーニング単独 |
| 79 | 小学校英語の基礎講座 ^(注) | | 幼・小・中・義・高・特 | eラーニング単独 |
| 80 | 情報モラル教育講座 | 情報モラル | 幼・小・中・義・高・特 | eラーニング単独 |
| 81 | 学校安全推進講座 ^(注) | | 幼・小・中・義・高・特 | eラーニング単独 |

| 番号 | 講座名 | コース記号・コース名 | 対象者 | 形態 |
|----|-----------------------------|---|-------------------------|----------|
| 82 | 発達障害の理解と支援講座 ^(注) | A 発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～ | 幼・小・中・義・高・特 ※事務職員を含む | eラーニング単独 |
| | | B 発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～ | | eラーニング単独 |
| | | C 行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～ | | eラーニング単独 |
| | | D 行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～ | | eラーニング単独 |
| | | E 感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～ | | eラーニング単独 |
| | | F 学習に困難のある児童生徒の理解と支援① ～学習に困難のある児童生徒の理解とアセスメント～ | | eラーニング単独 |
| | | G 学習に困難のある児童生徒の理解と支援② ～学習障害(LD)の理解と支援～ | | eラーニング単独 |
| 83 | 校内研修と授業研究の効果的な進め方講座 | 校内研修と授業研究の効果的な進め方 | 幼・小・中・義・高・特 | eラーニング単独 |

(注) 78～85の講座は、全てeラーニング研修により実施する。センターでの集合研修は行わない。
 なお、これらの講座については、令和3年2月5日(金)まで随時、応募を受け付ける。

(5) 長期研修

ア 研究を通じた研修

| 番号 | 研修名 | 内 容 | 応募条件 | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|--------------|---|---|--------------|----------|----|
| 84 | 教育研究リーダー養成研修 | 理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダーの育成を目指す研修を行う。 | 現在または今後、学校運営上で、特に教育研究におけるミドルリーダーとしての役割を担う者で、市町村立学校教員については、校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長の推薦を受けた者、県立学校教員については、校長の推薦を受けた者(ただし、教職経験6年以上の者で「10年経験者研修」の対象者を除く) | 小・中・義 高・特 | 20 13 | 10 |
| 85 | 特別支援教育相談長期研修 | 相談実習を中心に、特別支援教育相談に関する理論的・実践的研究を通して研修を行う。 | 教職経験がおおむね5年から15年の者で、校長の推薦を受けた者 | 特 | 3 | 21 |
| 86 | 教育相談特別研修 | 総合教育センター及び愛知教育大学において、教育相談に関する研究を通して研修を行う。 | 教職経験がおおむね10年から20年の者で、校長が認めた者 | 高 | 3 | 1年 |

イ 派遣による研修

| 番号 | 研修名 | ね ら い | 対象者 | 人数 | 期間 |
|----|-------------------------|---|--------------------------|----|-----|
| 87 | 小中学校社会体験型教員研修 | 学校以外の諸施設で、多様な体験を積むことにより、豊かな見識と広い視野に立った教育力を培い、教員の資質の向上を図る。 | 小・中・義 | 3 | 1年 |
| 88 | 大学院及び教職大学院派遣研修 | 現職のまま、愛知教育大学または新教育大学(兵庫、上越、鳴門)において、長期間にわたって研修・研究を行う。 | 大学院：小・中・義・特 教職大学院：小・中 | 26 | 2年 |
| 89 | 愛知教育大学特別支援教育特別専攻科内地留学研修 | 特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図る。 | 小・中・義・特 | 4 | 1年 |
| 90 | 国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修 | 特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図る。 | 小・中・義・特 | 5 | 2か月 |

ウ 認定による研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 対象者 | 期間 |
|----|--------|---|-----------|----|
| 91 | 指導改善研修 | 「指導が不適切な教員」として認定された者に対して、学校への復帰を第一の目的とした適切な研修を実施し、意識の改善や力量の向上を図る。 | 小・中・高・義・特 | 1年 |

(6) 小中学校事務職員等研修

ア 小中学校事務職員研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|---------|--|--------------|-----|----|
| 92 | 新規採用者研修 | 学校事務職員として必要な基礎的知識や、法制及び実務に関する知識の習得を図る。(給与、福利、厚生、服務、地方教育行政制度、税の基礎知識等) | 新規採用者 | 74 | 6 |
| 93 | 中堅者後期研修 | 中堅職員として必要な幅広い視野と的確な判断力の養成並びに職務遂行能力の向上を図る。(基礎的な法律、コミュニケーション、グループワーク等) | 平成21・22年度採用者 | 95 | 3 |
| 94 | 新任主査研修 | 主査としての自覚・役割や基本的管理能力の養成を図る。(学校運営、服務、部下育成、健康管理、グループワーク等) | 令和2年度昇任者 | 16 | 3 |
| 95 | 現任主査研修 | 主査として必要な指導力の向上と行政的視野の拡大を図る。(リーダーシップ論、コミュニケーション、情報セキュリティ、グループワーク等) | 平成27年度昇任者 | 18 | 2 |
| 96 | 新任事務長研修 | 事務長としての自覚・役割及び学校経営参画への企画・遂行能力の養成を図る。(学校経営論、コミュニケーション、健康管理、グループワーク等) | 令和2年度昇任者 | 24 | 2 |

イ 県立学校用務員等研修

| 番号 | 研修名 | ねらい | 対象者 | 実人数 | 日数 |
|----|---------------|--|--|-------------|----|
| 97 | 県立学校用務員研修 | 環境整備① | 用務員として必要な学校環境整備、電気及び水道に関する知識・技能の習得を図る。 | 用務員のうち希望する者 | 中止 |
| | | 環境整備② | | | |
| | | 電気関係① | | | |
| | | 電気関係② | | | |
| | | 水道関係① | | | |
| | | 水道関係② | | | |
| 98 | 県立学校図書館関係職員研修 | 県立学校図書館における図書館資料の利用に関する事務に従事する職員の資質の向上を図る。 | 図書館事務に従事する事務職員または実習教員のうち希望する者 | 資料配布による実施 | |

3 教育相談事業

(1) 一般教育相談

① 面接相談 (相談来所者総数)

(単位：人)

| 内容別 \ 対象別 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他 | 合計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 身体・精神 | 3 | 0 | 3 | 0 | 6 |
| 学業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不登校 | 68 | 89 | 118 | 0 | 275 |
| いじめ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| いじめ関連 | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) |
| 非行等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 性格等 | 41 | 0 | 81 | 0 | 122 |
| 進路・適性 | 0 | 0 | 10 | 28 | 38 |
| 家庭教育 | 0 | 1 | 30 | 0 | 31 |
| その他 | 0 | 1 | 7 | 0 | 8 |
| 合計 | 112 | 91 | 249 | 28 | 480 |

※いじめ関連は「いじめ」と「他の区分に入る相談でいじめに関するもの」との合計であり、すべての合計の内数として示す。

② 電話相談

(単位：回)

| 内容別 \ 対象別 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | その他 | 合計 |
|-----------|-----|-----|------|-----|------|
| 身体・精神 | 22 | 8 | 39 | 4 | 73 |
| 学業 | 12 | 8 | 5 | 0 | 25 |
| 不登校 | 51 | 44 | 146 | 1 | 242 |
| いじめ | 5 | 5 | 10 | 0 | 20 |
| いじめ関連 | (9) | (7) | (15) | (0) | (31) |
| 非行等 | 2 | 0 | 3 | 0 | 5 |
| 性格等 | 23 | 5 | 68 | 1 | 97 |
| 進路・適性 | 2 | 13 | 45 | 10 | 70 |
| 家庭教育 | 17 | 26 | 35 | 0 | 78 |
| その他 | 87 | 52 | 88 | 192 | 419 |
| 合計 | 221 | 161 | 439 | 208 | 1029 |

※いじめ関連は「いじめ」と「他の区分に入る相談でいじめに関するもの」との合計であり、すべての合計の内数として示す。

(2) 特別支援教育相談 (相談来所者総数)

(単位：人)

| 内容別 \ 対象別 | 就学前 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 小計 | 保護者 | 教職員等 | 合計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 家庭養育 | 35 | 3 | 0 | 0 | 38 | 67 | 0 | 105 |
| 就学 | 79 | 0 | 0 | 0 | 79 | 141 | 0 | 220 |
| 指導・支援 | 26 | 193 | 32 | 26 | 277 | 578 | 5 | 860 |
| 障害の程度 | 6 | 2 | 0 | 0 | 8 | 14 | 0 | 22 |
| 進路・適性 | 0 | 8 | 9 | 4 | 21 | 44 | 0 | 65 |
| その他 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 5 | 0 | 7 |
| 合計 | 146 | 208 | 41 | 30 | 425 | 849 | 5 | 1,279 |

※ 対象幼児児童生徒の障害別内訳

(単位：ケース延べ数)

| 視覚障害 | 聴覚障害 | 知的障害 | 肢体不自由 | 病弱 身体虚弱 | 言語障害 | 自閉症 情緒障害 | その他 | 合計 |
|------|------|------|-------|------------|------|-------------|-----|-----|
| 1 | 6 | 137 | 9 | 4 | 0 | 294 | 286 | 737 |

(3) 教育関係職員相談 (単位：回)

| | | | | |
|---------------|---------|-----------------------------|---------|-----|
| メンタルヘルス 相談 | 身上・生活相談 | セクシュアル・ ハラスメント 相 談 | 幼稚園教員相談 | 合 計 |
| 16 | 250 | 2 | 0 | 268 |

4 教育情報提供事業

(1) 図書資料室

① 保有数

| | | | | |
|---------|------------|---------|-----|-----|
| 教育関係図書 | 研究紀要・研究報告書 | 教 科 書 | 雑 誌 | 新 聞 |
| 46,601冊 | 67,403冊 | 25,347冊 | 34種 | 4種 |

② 利用状況 R3.2.28現在

| | | |
|------|------|--------|
| 開館日数 | 入館者数 | 利用図書冊数 |
| 189日 | 301人 | 1,222冊 |

5 生徒実習

(1) 農業教育共同実習所

① 生徒実習 (対象：県内高等学校の農業に関する学科・系列で学ぶ2年生全員)

ア 参加生徒

| 区分 | 日帰り1日 | | 2日間通所 | | 計 |
|------------------|--|-------------------|---|--|----------------------|
| | Aプラン トラクタ・エンジン | Bプラン トラクタ・施工機械 | Cプラン トラクタ・エンジン | Dプラン 施工機械エンジン | |
| 学校数 | 4校 | 1校 | 6校 | 2校 | 25+4系列 |
| 学級・系列数 | 4+2系列 | 1系列 | 17+1系列 | 4 | 25+4系列 |
| 生徒数 (男・女) | 161 (79・82) | 40 (19・21) | 666 (226・440) | 139 (103・36) | 1,006 (427・579) |
| 実習延べ生徒数 (男・女) | 161 (79・82) | 40 (19・21) | 1,326 (450・876) | 276 (205・71) | 1,803 (753・1,050) |
| 学校 学級・系列 | 新城有教館 農業系列I 農業系列II 作手 人と自然 田口 林業 半田農業 食品科学 生活科学 | 鶴城丘 環境デザイン系列 | 安城農林 農業 園芸 フラワーサイエンス 食品科学 森林環境 動物科学F 動物科学G 稲沢 園芸 生活科学 猿投農林 農業I 農業II 生活科学 佐屋 生物生産 園芸科学 鶴城丘 アグリサイエンス系列 半田農業 農業科学A 農業科学B 施設園芸 | 稲沢 環境デザイン 農業土木 猿投農林 林産工芸 環境デザイン | |

- ・農業機械宿泊共同実習は休止し、新型コロナウイルス感染症対策として宿泊を伴わない農業機械共同実習を実施した。なお、渥美農業高校全4学科は参加を見合わせた。
- ・実習内容は、日帰り特別プランを設定し実施した。

(2) 実習内容

ア エンジン実習

| 区分 | 実習内容 | 実施数 |
|--------------|---|-------|
| Aプラン | 4サイクルガソリンエンジンの分解・組立 (4サイクルガソリンエンジンを半分解して構造を学ぶ) | 6クラス |
| Cプラン Dプラン | 4サイクルガソリンエンジンの分解・組立 (4サイクルガソリンエンジンを全分解して構造を学ぶ) | 22クラス |

イ 運転実習

| 区分 | 実習内容 | 実施数 |
|------|------------------------------------|-----|
| Aプラン | トラクタ基本運転【クランク・8の字・大角(班ごとに1行程のみ実施)】 | 6 |
| Bプラン | トラクタ基本運転【クランク・8の字・大角(班ごとに1行程のみ実施)】 | 1 |

| | | | |
|------|-------------------------------|--|----|
| | 施工機械運転 (3機種選択) | ブルドーザ・ホイールローダ・ドラグショベル (班ごとに2行程のみ実施) | |
| Cプラン | トラクタ基本運転【クランク・8の字・車庫(全3行程実施)】 | | 18 |
| Dプラン | トラクタ基本運転(外周) | ブルドーザ・ホイールローダ・ドラグショベル (全3行程実施) | 2 |
| | 施工機械運転 (3機種選択) | トラクタ・ドラグショベル・フォークリフト (全3行程実施) | 2 |

② 資格取得等講習(対象: 県内高等学校の農業に関する学科・系列で学ぶ3年生希望者)

| 講 習 名 | 日 程 | 参加人数 | |
|-----------------------|---------------------|------|----|
| | | 男子 | 女子 |
| 小型車両系建設機械(3t未満)運転業務講習 | 2日間(3回) | 男子 | 25 |
| | | 女子 | 11 |
| フォークリフト(1t未満)運転業務講習 | 2日間(7回) | 男子 | 21 |
| | | 女子 | 6 |
| 農業機械技術講習 | 1日間(1回) | 男子 | 5 |
| | | 女子 | 2 |
| 大型特殊自動車運転技能講習 | 2日間(3回) (自由練習8日) | 男子 | 8 |
| | | 女子 | 1 |
| 計 | | 男子 | 59 |
| | | 女子 | 20 |

愛知県総合教育センター